

2015年7月14日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町Y Sビル
 TEL. 03-3664-5811 FAX. 03-3661-0165
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

小売店チャンネル17とダイレクトチャンネル7の24チャンネルを分析

国内主要流通チャンネル別の食品市場を調査

—2015年見込—

■SM：店舗数の増加や中食・惣菜がけん引し好調 2014年比0.8%増の14兆2,920億円

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、国内の小売店チャンネル17とダイレクトチャンネル7の計24チャンネルにおける食品18カテゴリー60品目の市場規模推移やカテゴリー・品目別販売動向などを調査した。なお小売店チャンネルについては全国8エリア別の市場規模や参入企業シェアを調査し、またオムニチャンネル化や機能性表示食品への取り組み、流通企業の再編など食品流通業界を取り巻く環境についても分析した。その結果を報告書「注目食品流通チャンネルトレンドデータブック 2015」にまとめた。

<調査の概要>

国内消費は2014年4月の消費税増税後の低迷から回復基調にあるものの、依然として消費者の節約志向は強く、外国人観光客によるインバウンド需要も首都圏などの主要都市に集中し、地方には及んでいない。また、2015年に入り食品の値上げが相次いでいることから、食品業界を取り巻く環境はより厳しさを増している。

食品流通業界ではシェア拡大や事業の効率化を目指して企業の統合や業務提携が進むなど、生き残りをかけた再編が加速している。また、消費行動の変化から主要業態のGMSやSMからCVS、インターネット通販へと、食品の買い場が多様化しており、消費の流動性が激しさを増す中、オムニチャンネルに対応する流通企業も増加している。

■国内食品流通市場（24チャンネル、小売りベース）

2014年	2015年見込	2014年比
36兆2,843億円	36兆8,221億円	101.5%

小売店チャンネルで最大規模のSM市場は、成熟ながら主に都市部に新店を加速させるなど、微増を続けている。またCVS市場は、店舗数が大幅に増加しているほか、商品面ではカウンターコーヒーの好調、中食・惣菜カテゴリーの強化により今後も拡大が期待される。根強い節約志向を背景としてSMを中心に低価格帯商品が支持される一方で、高級スーパーや総合・輸入雑貨店／ワインショップの様に他の業態では手に入りにくい独自性を持った商品を取り扱うチャンネルも拡大している。GMSはSMなど他チャンネルへ顧客がシフトしており、不採算店舗の閉店も目立つなど縮小している。

ダイレクトチャンネルではインターネット通販市場がインターネット利用者数の増加に伴い近年急成長しており、今後も順調な拡大が期待される。カタログ通販はサービスの向上によりオフィス向けの顧客数が増加しているが、家庭向けはインターネット通販へのシフトが加速していることから減少していくとみられる。また自動販売機は消費者の節約志向を背景に量販店やCVSとの競合激化から縮小が続くとみられる。

<注目チャンネル市場>

■SM

2014年	2015年見込	2014年比
14兆1,850億円	14兆2,920億円	100.8%

近年「まいばすけっと」を筆頭に都市型小型SMの新店が加速しており、拡大している。2014年は店舗数の増加に加え、上位企業の多くで既存店が好調だった。また畜産品など生鮮品の相場高の影響による値上げが売上げを押し上げたほか、中食・惣菜需要の高まりも寄与した。

2015年も前年に引き続き店舗数の増加や中食・惣菜の好調により、微増が見込まれる。

<調査対象>

【カテゴリー・品目】

菓子	スナック菓子、チョコレート・チョコレート菓子、ビスケット・クッキー、ガム、キャンディ類、その他菓子
調味料	しょうゆ、味噌、マヨネーズ、ドレッシング、食用油、その他調味料
調味食品	レトルトカレー、パスタソース、メニュー専用合わせ調味料、ふりかけ・米飯メニューの素、その他調味食品
スープ	インスタントスープ、その他スープ
麺類	カップ麺、袋麺、その他麺類
冷凍食品	冷凍米飯、惣菜系冷凍食品、スナック系冷凍食品、その他冷凍食品
デザート	チルドデザート、フローズンデザート、その他デザート
農産加工品	ジャム類、豆腐、漬物、素材缶詰、その他農産加工品
畜産加工品	ハム、ソーセージ、その他畜産加工品
水産加工品	水産練製品、水産缶詰、その他水産加工品
乳製品	チーズ類、バター・マーガリン、クリーム類、ヨーグルト、その他乳製品
飲料	炭酸飲料、コーヒー、茶系飲料、果実・野菜飲料、ミネラルウォーター類、ドリンクヨーグルト・乳酸菌飲料、飲用牛乳・乳飲料、その他飲料
アルコール飲料	ビール類、清酒、焼酎、低アルコール飲料、ワイン、ウイスキー・ブランデー、その他アルコール飲料
嗜好品	インスタントコーヒー、レギュラーコーヒー、緑茶、紅茶、その他嗜好品
その他加工食品	パン、プレミックス、包装餅、その他
中食・惣菜	弁当・麺類、惣菜・FF、ドリンク類
生鮮品	野菜・果実、鮮魚・貝類、精肉・卵
米	

【チャンネル】

小売店チャンネル	GMS、SM、高級スーパー、ネットスーパー、業務用食品スーパー、会員制スーパー、CVS、ドラッグストア、ホームセンター・ディスカウントストア、均一価格ショップ、総合・輸入雑貨店／ワインショップ、酒販店、家電量販店、鉄道系売店、百貨店、新制度適用免税品店、生協スーパー
ダイレクトチャンネル	インターネット通販、家庭向けカタログ通販、オフィス向けカタログ通販、オフィス専用ボックス、食品自販機、飲料自販機、生協宅配（個配）

<調査方法> 富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間> 2015年5月～6月

以上

資料タイトル：「注目食品流通チャンネルトレンドデータブック 2015」
体 裁：A4判 260頁
価 格：書籍版 130,000円＋税 PDF／データ版 140,000円＋税 書籍版・PDF／データ版セット 160,000円＋税
調査・編集：株式会社 富士経済 東京マーケティング本部 第一部 TEL：03-3664-5821 FAX：03-3661-9514
発行所：株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL：03-3664-5811（代） FAX：03-3661-0165 e-mail：info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL：http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/